

ランチョンセミナーⅡ

新・機能性表示制度を考える～鍵は「機能性おやつ」～

矢澤 一良

早稲田大学ナノ理工学研究機構 研究院 教授

「日本を健康にする！」研究会 会長

2015年春に「新・機能性表示制度」が施行されることにより、企業責任の元にこれまで不可能だった「構造機能表示」が可能になり、食品・健康産業業界にとって大きな変革期を迎えることとなる。

今後は大学をはじめとした各研究機関や医療関連従事者、管理栄養士など食の専門家、メーカー、流通、メディアといったさまざまな立場の関係者がいかに生活者（消費者）にとって適した情報発信ができるか、ということが大きなポイントになると思われる。

生活者は現在も膨れ上がる一方の膨大な健康関連情報に加え、新制度が施行されると、さらに情報量が増えることとなり、「正しい情報」「正しい知識」「判断する力」が求められることとなる。

そこで生活者に対して、「機能性」についてわかりやすく情報提供する手段の一つとして本研究会が取り組んでいるプロジェクト「機能性おやつ」がある。

「機能性おやつ」とは、食事による健康増進の一つの手段として、美味しく楽しく食べられる「おやつ」に機能性や適量の栄養成分を付加したものであり、日本古来独自の食文化「おやつ」を取り入れることを提唱した新しい考え方である。

本セミナーでは学術の観点、また産業の観点から有識者によるそれぞれの考え方をお伝えすると共に、講師と会場参加者とのディスカッションも行う。